

馬高縄文館秋季特別展

土偶



と

石棒



特別展関連講座

『信濃川流域の土偶と石棒をさぐる』

◇日時 10月15日(日) 午後1時30分～3時30分

◇講師 石川智紀さん(新潟県埋蔵文化財事業団)

小熊博史(長岡市立科学博物館長、馬高縄文館長)

◇参加料 **無料**(当日の展示室観覧料も無料)

◇会場 馬高縄文館学習室

◇定員 50名【先着、小学生(保護者同伴)以上】

◆申し込み期間 9月10日(日)～10月12日(木)

馬高縄文館 令和5年度 秋季特別展

『土偶と石棒～縄文の精神文化』

◇期間 9月23日(土)～11月5日(日)

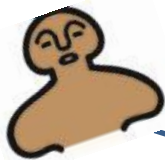
◇観覧料 200円(高校生以下無料)

◇開館時間 午前9時～午後5時

※入館は午後4時30分まで

◇休館日 月曜(祝日の場合は翌日)

縄文時代には実用品だけでなく、精神性に関わるもの、「第二の道具」と呼ばれる土偶や石棒がつけられていました。特に火炎土器の時代には、特徴的な河童型土偶や彫刻を施した大形石棒が登場します。馬高縄文館の秋の特別展では、新潟県内の縄文中期の資料を中心に、後・晩期の資料も交えながら、縄文人の儀礼や心の造形をさぐってみます。



横に伸ばす

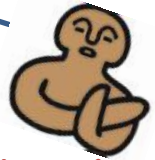


手を組む

土偶のおはなし



垂れ下がる



ストレッチ・・・?

土偶とは・・・

粘土によってヒト形に造形した焼き物のことです。最近では女神像と考え、縄文時代の儀礼に関わるとみる研究者が多いようですが、残念ながら土偶の用途を見定める決定的な証拠はありません。

一風変わった土偶

三角形土版 (さんかくけいどばん)

表面に沈線などで文様を描いた三角形の土製品です。乳房のような突起をもつ種類があり、土偶を簡略に表現したものと考えられます。



【岩野原遺跡出土】

なかには人間離れしたカタチのもの・・・

女性や妊婦をモデルとした土偶が多いなかで、そのような特徴は全ての土偶にみられる表現ではありません。

縄文人の思い描いた目に見えない何者かをカタチにし、土偶にさまざまな思いを込めたものと考えられます。

新潟県縄文中期代表

河童型土偶(かっぱがたどぐう)

あたまのてっぺんが平ら、または凹んだ土偶の愛称です。縄文中期に新潟県を含む北陸を中心につくられていたようです。



【中道遺跡出土】

モノづくりの秋

縄文土器をつくろう！

●今年も、馬高縄文館・藤橋歴史の広場で一日かけた本格的な土器づくりのイベントを行います！
初心者でも、気軽に楽しく土器づくりができるイベントです。
芸術の秋、縄文時代の遺跡で、自分特製の縄文土器をつくってみませんか？



『縄文土器をつくろう！』

- ①馬高縄文館
◇日時 9月24日(日) 午前10時～午後3時
◇定員 20名【小学生(保護者同伴)以上】
◇参加料 **無料** (当日の展示室観覧料も無料)
◆申し込み期間 9月10日(日)～21日(木)
- ②藤橋歴史の広場
◇日時 9月30日(土) 午前10時～午後3時
◇定員 10名【小学生(保護者同伴)以上】
◇参加料 **無料** (展示室観覧料も無料)
◆申し込み期間 9月10日(日)～27日(水)
- ①②とも
○持ち物 昼食、飲み物、汚れてもよいタオル・服装、(あれば)粘土ペラ
- ③土器焼き 10月14日(土) 午前10時～午後3時
※雨天順延
◇参加料 **無料** (展示室観覧料も無料)
※土器焼きは申し込み不要。当日は綿の長袖着用でお越しください。

火炎土器ネイル

毎年大好評のイベント『みにつける火炎土器／火炎土器ネイル』を、今年も開催します♪
火炎土器の文様を、自分好みにシールしてつくります。
爪に火炎土器をまとうおしゃれな秋を楽しみましょう。



『みにつける火炎土器／火炎土器ネイル』

- ◇日時 10月8日(日) ①午前10時から正午②午後1時から3時
◇定員 各10名【先着、小学生(保護者同伴)以上】
◇参加料 **無料** (当日の展示室観覧料も無料)
◇持ち物 ピンセット、トップコート、好きなマニキュアやネイルパーツ、爪切り、(必要なら)ネイルチップ
◆申し込み期間 9月10日(日)～10月5日(木)

※イベントのお申し込みは長岡市馬高縄文館 (0258-46-0601) までお電話にてお願いいたします。